

学校だより

# 百折不撓

四ノ川中学校

上野原西中学校 学校通信

第 8 号

令和 5年 12月 8日(金)

文責 校長 森 卓弥

TEL 62-3103

## 職業講話の学びを自分の進路に活かす！！

11月27日(月)に、お二人の講師を招いて職業講話集会を実施しました。実社会で生き生きと働く人と接することで、自分の夢や希望、未来像を描くためのきっかけや、今後の進路選択に活かせるようにしていく機会にしてほしいという思いで学年で企画しました。

一人目の講師の方は山本健一さんです。プロのトレイルランナーで公立高校の教員をしながら、走ることが大好きでこの道に進んでいきました。高校時代はインターハイで全国一位になるために山岳部に入部して、実際、インターハイで全国一位になりました。その後、大学でスキーのモーグルをしたそうですが、結果を残すことはできませんでした。しかし、たまたま知り合った年配の方にトレイルレースを勧められて、その魅力にとりつかれ、競技に没頭していったということです。中学高校時代は、勉強も一生懸命に取り組んだそうです。努力して結果が出るのが楽しく、そういう考え方がトレイルランにも通じていて、練習を積んで大会に出場し、反省・分析して次のステップに進むこと自体も楽しみだと話していました。また、海外での大会に出場することも多いので、数カ国の言語も勉強して話せるようになり、様々な人たちとコミュニケーションをとりながら一緒に走ることもこの競技の魅力だということも話をしていました。勉強することにより、新しい発見があり、自分の世界を拓いてくれるので楽しいというお話でした

二人目の講師の方は和泉義治さんです。YBSアナウンサーで現在も「子育て日記」や「ててて！TV」等で活躍されているアナウンサーの方です。出身は山梨県ではなく栃木県で、子どもの頃は「放送関係の仕事」か「学校の教員」になりたいと思って過ごしてきたそうです。大学に進学する時まで教員を目指していたので、都留文科大学に進学しました。しかし、教育実習に行ったときに、本当に自分にできるのだろうかと自分を見つめ直し、卒業してから1年間、就職せずにはばらく自分探しをしていました。この時期が良かったのか、子どもの頃に思い描いていた放送関係の仕



事に就きたいと思い立ち、自分の夢に向かって努力していたというお話でした。すぐに仕事に就かない時期はありましたが、子どもの頃にしっかりと夢を描いていたおかげで、今現在こうしてTVの仕事に関わっていている。今のうちから何か自分の進路について、夢や目標を描いておくことは大切で、そのことに向けてしっかり準備や勉強をしてほしいということでした。今現在、はっきりとしたものが見つかっていなくても、夢や希望を探し続けて行くことが大切ですよというお話をいただきました。



普段、身近にいない存在で、めったに出会えないような方々から直接お話を聞くことができる機会はなかなかないので、是非今後の自分の生き方に活かして欲しいと思いました。

## 生徒会役員選挙の立ち会い演説会と投開票が行われました

生徒会役員選挙の立ち会い演説会とその投票と開票が同日、11月17日（金）に行われました。立ち会い演説会の中で各候補者は、来年度の上野原西中学校をどのような学校にしていきたいのか、個々に思い描く未来像について力説していました。高い理想を掲げ、そのことにどう取り組んでいくのか。演説を聴いている生徒会員からも鋭い質問が出され、それに対して真剣に自分なりの考えを返していました。

選挙によって選ばれた人は、そこに責任と未来の上野原西中学校の生徒会のあり方が問われることとなります。もちろんそこには、選んだ人の責任もあるということを自覚してほしいと思います。立ち会い演説会で発表したように、自分なりの考えを生徒会のみんなと共に実現していくことを願っています。



## 校長室でのつぶやき

①11月27日（月）に地域の方から一本の電話が入りました。内容は、11月26日（日）午後5時頃、シルバーカーで歩道を移動していたところ、車輪に枝が挟まり、動けなくなってしまった。直すこともできず、周囲も次第に暗くなり心細くなってきたところに、4~5人の中学生から「大丈夫ですか」と声をかけられ、その子達のおかげでシルバーカーが動くようになり、家に帰ることができたということです。

地域の方からの、「最近の若い人たちの中で、様々な問題が起きています中、近所にもこんなに心優しい青少年がいて、上野原西中学校の生徒さんは本当に素晴らしいですね。」という話で、うれしくなりました。

②西中の生徒の表現力には驚きました。生徒会役員の立ち会い演説会での表現の仕方や演説の内容が素晴らしいと感じました。立候補者は原稿を見る、覚えて発表するというのが今まで見てきた立ち会い演説会ですが、原稿も見ずにあれほど自分の言葉で、言いたいことを表現できる西中生には驚きました。これからの西中がさらに楽しみになりました。こちらの生徒だけではなく多くの生徒が立派でした↑

